

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果（児童発達支援）

事業所名 個別療育センターココスマイル

公表日 令和8年4月27日

利用  
児童数 24

回収数22

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	1	0	0	・担当の先生が欠席で振り替えをしていただいた時、他の先生に変更して対応して下さい。 ・水回りもきれいで使いやすいです。 ・広い部屋が空いていない時は、少し活動が制限されているように感じる。	・職員の対応や施設環境についてご評価いただき、ありがとうございます。今後も安心してご利用いただけるよう、体制づくりと環境整備に努めてまいります。 ・お部屋について、ご不便をおかけして申し訳ございません。できる限り部屋や環境の調整に努めてまいりますので、気になることがあればいつでもお知らせください。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	21	1	0	0		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。	22	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	2	0	0	・日頃の支援について、高い評価をいただき、ありがとうございます。お子さまに合わせた言葉かけや課題設定、保護者さまの困りごとへの具体的な対応など、今後も丁寧に取り組んでまいります。	
	6 事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22	0	0	0		
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画（※3）が作成されていると思いますか。	19	2	0	1		
	8 個別支援計画には、児童発達支援ガイドライン・放課後等デイサービスガイドラインの「児童発達支援・放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	2	0	0		
	9 個別支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	2	0	0		
保 護 者 へ の 説 明 等	11 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20	2	0	0	・保護者さまへのご説明や関わりなど、高い評価をいただきありがとうございます。今後もお子さまに寄り添いながら、保護者さまのお気持ちやご要望にも丁寧に向き合う姿勢を今後も大切にしてまいります。	
	12 「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21	1	0	0		
	13 事業所では、家族等も参加できる研修会や情報提供の機会、座談会等が行われていますか。	21	0	0	1		
	14 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	20	0	0	2		
	15 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	3	0	0		
	16 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21	1	0	0		
	17 保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。	18	1	0	3		
	18 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	0	0	3		
	19 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	0	0	2		
	20 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16	3	0	3		
21 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	1	0	1			

非常時等の対応	22	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	2	0	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね高評価をいただき、ありがとうございます。</li> <li>・各種マニュアルにつきましては、今後、施設内の掲示物などを整理し、より分かりやすくご覧いただけるように努めてまいります。</li> <li>また、訓練や防災学習については、来年度より防災月間を設け、おさま一人ひとりが無理なく取り組める内容で実施していくことを考えております。実施状況についても、施設内掲示やホームページなどでお知らせしていく予定です。</li> <li>・半年ほど前から毎日の朝礼で災害時・非常時を想定した机上訓練にも取り組んでおります。今後も安全体制の強化に日々努めてまいります。</li> </ul>
	23	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	2	0	5		
	24	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	1	0	3		
	25	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	0	0	6		
満足度	26	こどもは安心感をもって通所していますか。	22	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間ありがとうございました。ココスマイルに通える事をありがたく思っています。ココスマイルに通っている事で安心します。来年度もよろしくお願ひします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通所について温かいお言葉をいただき、ありがとうございます。おさまが安心して楽しく通えていること、また保護者さまに安心していただける場になれていることを嬉しく感じております。今後も一人ひとりに寄り添った関わりとコミュニケーションを大切にに取り組んでまいります</li> </ul>
	27	こどもは通所を楽しみにしていますか。	22	0	0	0		
	28	事業所の支援に満足していますか。	20	2	0	0		

公表

## 事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名		個別療育センターココスマイル				公表日		令和8年4月27日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>療育で使用するお部屋について、振り替え等のイレギュラーなご利用についても、朝礼で話し合っ調整している。振り替えなどご利用が重なることがあってもほぼ調整できている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>掃除については、毎日の当番制に加え、今後も気付いた職員が積極的に行う</li> </ul>			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。	7	0					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援内容や業務改善について、話す機会は多い。</li> <li>大阪母子保健センター平山哲医師からの外部評価をいただいている。</li> <li>研修の機会は月に2、3回はある。施設内での事例検討、相談の機会も多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員間のコミュニケーションにおいてもアサーションを大切にし、今後もより良い支援や働きやすい体制に向けて、意見を交わしやすい環境づくりを進める。</li> <li>継続して大阪母子保健センター平山哲医師からの外部評価を依頼していく。</li> <li>研修を受けた後は、感想や取り入れられる点を共有し、より実践に結び付けられるよう取り組む。</li> </ul>			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0					

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援プログラムを公表している。</li> <li>・個別支援計画は、児童発達支援管理責任者を含む複数の職員で意見を出し合いながら作成している。</li> <li>・フォーマルな検査だけでなく、インフォーマルなアセスメントも大切にしている。</li> <li>・ガイドラインを踏まえ、日々の療育に取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者のご希望や客観的な必要性に応じて、フォーマルアセスメントを実施できるように、知識やスキルをアップデートしていく。</li> <li>・インフォーマルなアセスメントのスキルについても、研修や情報共有を通して高めていく。</li> </ul>
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	7	0		
	13	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0		
	14	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0		
	16	個別支援計画には、児童発達支援ガイドライン・放課後等デイサービスガイドラインの「児童発達支援・放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで相談しながら行っているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チームでの相談については、十分に行えているように思う。</li> <li>・活動プログラムについては、日々相談、工夫しながら固定化しないように努めている。</li> <li>・支援終了後の振り返りについては、支援終了後や勤務終了前、次の出勤時、翌日の朝礼など、支援に影響のないタイミングで随時実施している。</li> <li>・定期的にモニタリングを行い、意見を出し合って適切な見直しを行っている。</li> <li>・ガイドラインの「4つの基本活動」のうち、日常生活の充実と自立支援のための活動・多様な遊びや体験活動・子どもが主体的に参画できる活動について実施できている。</li> <li>・お子さまの自己選択・自己決定を尊重し、それを基盤とした支援を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設会議については、過度な負担とならないように、計画的・効率的に進める。</li> <li>・活動プログラムは、職員間で意見を出し合い、担当以外の視点も取り入れながら、固定化を防ぎ、より良い支援につながるよう進める。</li> <li>・ガイドラインの基本活動である地域交流については、外出支援の際に、可能な範囲で取り入れていく。</li> <li>・自己選択・自己決定において、意思表示が明確でない場合でも、表情や視線、動作、行動の変化など多様なサインを丁寧に汲み取りながら、今後も支援を行う。</li> </ul>
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0		
	19	支援開始前には職員間で打合せや情報共有を行い、チームで連携して支援を行っているか。	7	0		
	20	支援終了後には、職員間で支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0		
21	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0			
22	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0			
23	放課後等デイサービスでは、ガイドラインの「4つの基本活動」（日常生活の充実と自立支援のための活動・多様な遊びや体験活動・地域交流の活動・子どもが主体的に参画できる活動）を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7	0			
24	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0			

関係機関や保護者との連携	25	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて、児童発達管理責任者および担当職員が関係機関と連携している。</li> <li>・移行のタイミングで、ご希望と必要性に合わせて、移行支援に関する情報提供書を作成し、保護者様にお渡ししている。</li> <li>・保護者座談会を毎月実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も子育て通信や保護者座談会などを活用し、継続的に情報発信を行いながら保護者支援に努める。</li> <li>・保護者座談会の実施については、職員のスキルアップを図るとともに、特定の職員に負担が偏らないよう、月ごとのテーマに応じて担当職員を決めて実施していく。</li> </ul>
	26	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0		
	27	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、学校等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0		
	28	必要に応じて、就学時の移行の際には小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0		
	29	必要に応じて、就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0		
	30	必要に応じて、学校を卒業し放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0		
	31	地域の児童発達支援センターなどとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	2		
	32	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0		
	33	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0		

保護者への説明等	34	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	・HPに活動のお知らせをUPする機会が増えた。	・施設内の掲示板（ホワイトボード）での情報発信については、掲示物を精査・整理し、カテゴリーごとに分けて掲示するなど、より分かりやすくご覧いただけるよう工夫する。また、HPやLINEでの情報発信も適宜組み合わせ、必要な情報をより確実にお届けできるよう努める。
	35	個別支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	36	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか。	7	0		
	37	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	38	保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	0		
	39	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	40	定期的に通信等を発行することや、HP等を活用することにより、活動概要等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0		
	41	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	42	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
非常時等の対応	43	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	・緊急時の対応について、毎日の朝礼で、災害時・非常時を想定した机上訓練に取り組んでいる。 ・事故やヒヤリハットが発生した際は速やかに保護者へ報告・謝罪し、職員間で再発防止に向けた対策を検討・共有している。 ・食物アレルギーについては、保護者に確認している。	・各種マニュアルについて、今後、施設内の掲示物などを整理し、より分かりやすくご覧いただけるように努める。 ・訓練や防災学習については、来年度より防災月間を設け、お子さま一人ひとりが無理なく取り組める内容で実施していくことを考える。実施について、施設内掲示やHPなどでお知らせしていく。
	44	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	45	事前に、服薬やてんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0		
	46	必要に応じて、食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1		
	47	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	48	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	49	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		
50	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0			
51	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	7	0			

公表

## 事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	個別療育センターココスマイル		
○保護者評価実施期間	2026年2月21日		～ 2026年3月12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2026年2月21日		～ 2026年3月12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年4月27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さまの状況について、保護者さまと日頃から情報を共有し、共通理解を図る時間を大切にしています。	毎回の療育で、モニターでお子さまの様子をご覧いただいたり、ご家庭や園でのご様子を保護者さまからお聞きしたりしながら、療育での様子や支援のポイントをお伝えする時間を設けています。	今後も、療育時のご来所が難しい保護者さまには、別日の面談やお電話、LINEでの共有など、ご都合に合わせた無理のない方法で情報交換を行っていきます。また、療育時にご来所いただける場合でも、前後に十分なお時間がとれない場合や、療育とは別のタイミングでのお話をご希望される保護者さまには、別日に情報共有の機会を設けてまいります。
2	毎月、保護者座談会を開催し、日々の関わりに役立つヒントや実践的なアイデアを共有するとともに、保護者同士が安心して交流できる場を提供しています。	座談会のテーマにつきましては、保護者の皆さまのご希望や事前アンケートをもとに設定しております。また、安心してお話いただけるよう、ルールを設けて冒頭で毎回ご説明しております。参加形態につきましては、対面とオンラインのハイブリッド方式で実施し、どなたでも参加しやすい環境づくりに努めております。	職員全体のスキルアップを図るとともに、特定の職員に負担が偏らないよう、月ごとのテーマに応じて担当職員を決めて実施してまいります。今後も継続して開催していくために、体制づくりと運営方法の工夫を進めていきます。
3	支援の相談や業務改善に向けた話し合いが職員間で積極的に行われています。	毎日、朝礼や支援終了後の話し合いでは、情報共有や相談事項に抜けが生じないよう、定期確認項目に基づいて話し合いを行っております。また、定期的に会議を開催し、支援や業務に関する課題を共有できる場を設けております。話し合いたいことや議題を思いついた際にすぐ記載できるボードを掲示し、日頃から意見を共有しやすい環境を整えております。	話し合いの場では、今後もアサーションを意識し、互いの意見を尊重しながら建設的に議論できるよう努めていきます。また、議題の優先順位や配分時間を決めて話し合うことで、より効率的な会議運営を図ります。さらに、必要に応じて会議前に回覧等で情報共有や意見の集約を行っておくことで、当日の議論を深められるよう工夫してまいります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	各種マニュアルの提示方法や訓練に関する情報共有が分かりにくいことが課題となっています。	掲示物が多く、必要な情報に注目しにくい状況があること、HPやLINEでの情報共有を十分に活用できていないこと、また、訓練の実施日や訓練に参加されるお子さま・保護者さまが限られていることなどが要因であると考えられます。	各種マニュアルにつきましては、今後、施設内の掲示物などを整理し、より分かりやすくご覧いただけるように努めてまいります。また、訓練や防災学習については、令和8年度より防災月間を設け、お子さま一人ひとりが無理なく取り組める内容で実施していくことを考えております。実施についても、施設内掲示やHP、LINEなどでお知らせしていく予定です。
2			
3			